

平成21年度 「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業

モデル事業名	地域資源を活かした持続可能なコミュニティ創造事業（通称：ゆいむすび事業）
対象地域	佐賀県三養基郡基山町宮浦（一井木地区）
対象地域の概要	   【位置図】 【孟宗竹が侵食した休耕地】 【高齢化による遊休農地】
提案内容の概要	平成20年度の「新たな公によるコミュニティ創生支援事業」の調査検討結果にもとづき、孟宗竹が侵食する休耕地や荒れたままの農地を保全し、そこに新しい地域魅力づくり（石釜づくり、竹バイオマス、食育及びビオトープづくりなどのワークショップ）を行い、地域の住民を中心とするコミュニティ・ビジネスを創出するものです。
提案する活動の内容 （1）地域の課題	平成20年度の「新たな公によるコミュニティ創生支援事業」で判明した課題は、以下のとおりです。 1. 高齢者の農地が休耕地となっており、雑草や孟宗竹による侵食から保全する必要があります。 2. 地域の新たな魅力づくりを多様な人たちで取り組む必要があります。 3. 若い世代が魅力を感じるコミュニティ・ビジネスの創出に取り組む必要があります。 4. コミュニティ・ビジネスによる自主財源の確保と交流人口の増加を図る必要があります。
（2）活動内容の案	活動①：農地保全と竹バイオマス・ワークショップ 孟宗竹に侵食された農地において竹の成長期（5月から8月）と成長が止まった時期（9月から12月）の二つの時期に分けて孟宗竹を伐採し、レンタルした粉碎機でチップ化し、堆肥として発酵させたものを畑や果樹園に撒布し、作物の生育に適した竹肥料について実証実験を行うとともに、竹肥料の販売先を開拓し、遊休農地保全のための持続可能な維持活動としての竹バイオマスのコミュニティ・ビジネスの可能性を検討します。 活動②：新しい地域魅力づくりワークショップ 保全した農地を地域の新しい魅力として幅広い世代が交流する拠点づくりとして以下のワークショップを行い、コミュニティ・ビジネスの可能性を検討します。 - 石釜づくりワークショップ 石釜づくりを様々な世代の人々と取り組み、その後一緒になって石釜を使ったスローフード作りを行い、世代間交流の拠点づくりを行います。 - 食育ワークショップ 地元幼稚園と連携し、保全した休耕地に野菜を育て、石釜を使って料理を行う食育教育を行います。 - 特産品づくりワークショップ 休耕地に加工できる野菜やハーブを育てて、新しい地域特産品となる加工品づくりを行い、インターネットによる販売を行います。 - 休耕地ビオトープ化ワークショップ 休耕地のなかで水はけの悪い水田をモデルにビオトープづくりを行い、多様な水生生物や水生植物の活動の場づくりを行い、自然環境学習の拠点づくりを行います。
応募団体名	特定非営利活動法人きびっとの杜
リ ン ク	http://www5.ocn.ne.jp/kibit/
部 局 ／ 担 当 者 名	特定非営利活動法人きびっとの杜 理事長 成富 由久
連 絡 先	電話 0942-92-2073 Email y.naritomi@heart.ocn.ne.jp

推 薦 市 町 村 名

佐賀県三養基郡基山町